収納カウンターワゴン

Switch

PAT.P

秀光

収納カウンターワゴン

Switch PAT.P

空間を変える ロビーを広く

業務によって空間を変化させるパーティション収納型のカウンター

金融機関の課題である「遊休スペースの活用」。
多様化する顧客ニーズに合わせたロビーの有効利用が求められる現代の金融機関に合わせて開発された「Switch」。
ロビー空間の休日利用や他テナントとの共有、貸し出しなど、時間外のロビースペースの活用へのハードルが大きく下がり、多種多様な店舗運用が可能になる。

Photo
山口銀行徳山駅前支店 / もみじ銀行 徳山支店
テナントイン店舗 / 共同店舗
オープン：2022 年 9 月

お店は閉めずにカウンターを閉じる

ON と OFF を瞬時に切り替えロビーのキャラクターを変える

カウンター端末ワゴン「Switch」の最大の特徴は、営業時間終了後に店舗を閉めずに済むこと。
金融窓口が営業時間中は「Switch」を引出し、ロビーの一部で窓口業務を行う。
営業時間終了後は「Switch」をパーティションの向こうへとぐっと押し込むことで、ロビーは瞬時に金融店舗から別の空間へ変化することができる。

カウンター収納時

Photo
北九州銀行 八幡中央支店
異業種コラボ店舗
オープン：2021 年 8 月

▲ OPEN

多種多様なロビー運用と店舗設計

セキュリティラインを簡素化し幅広い運用を可能に

時間外でロビーを活用するにはセキュリティラインの設定が重要になるが、従来のセキュリティラインは金融オフィスと金融ロビーを分ける線と、金融ロビーと共用ロビーを分ける線の 2 本が必要だった。「Switch」を導入し、カウンター機器を業務時間後にオフィス側へと収納することによって、金融オフィスのセキュリティのみで業後にもロビーを開放することが可能になる。
これにより、今までのように区画する必要はなくなり、共同の空間として運用することができ、店舗の小型化あるいは、建築の小型化を可能にする。

▼ CLOSE

Photo
山口銀行 徳山駅前支店 / もみじ銀行 徳山支店
テナントイン店舗 / 共同店舗
オープン：2022 年 9 月

収納カウンターワゴン Switch -concept-

ロビー活用の幅を広げる新しい形のカウンター

近年の金融機関店舗のあり方が大きな転換期を迎えています。十数年前では考えられなかった異業種や他企業と同居するコラボレーション型店舗や、公共施設・ショッピングモール、エキナカ等にテナントインで入居するなど、店舗形態が大きく変化しています。そこでは新たに、「業後のセキュリティをどう保つのか」という問題が常に付きまとっていました。

「Switch」は、「ロビーを周辺施設などと共用できること」「その際にセキュリティを確保すること」をコンセプトに掲げて開発され、新しい“カタチ”の金融店舗を実現させる一つのアイテムとして誕生しました。

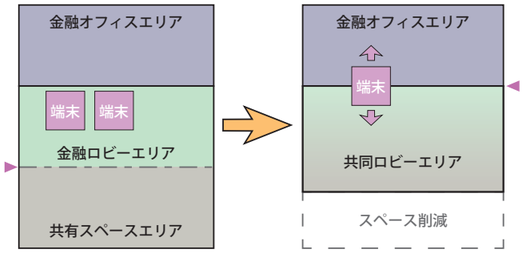
「Switch」の導入により生まれるメリット

収納カウンターワゴン「Switch」の導入により、金融店舗には数多くのメリットをもたらします。
接客スタイル・空間の面積・建築のコストを従来から大きく変えることができ、幅広い店舗戦略を実現するためのセキュリティやコストハードルが大きく下がるため、より具体的なターゲットを絞った店舗設計と運営が可能になります。

従来のエリア構成の略図

金融ロビーにカウンターが固定されているためセキュリティ上営業時間外でも金融ロビーへの立ち入りはできずシャッターなどで区切りが必要だった

可動間仕切りによる営業時間外のセキュリティライン



パーティションによる固定のセキュリティライン

端末をオフィス側へ移動しロビーを開放する共同ロビーにすることで店舗のコンパクト化や借地面積の削減などが可能になる

カウンターが変わると接客が変わる

カウンターでの取引が ATM で対応可能になり、キャッシュレス決済やオンライン取引が増えました。その影響により、カウンターで現金取引を行う必要性が減少したことから、近年『現金を取扱わないカウンター』『現金を取扱わない店舗（いわゆる特化型店舗）』が浸透してきています。

現金取引を廃止したことにより、カウンター用端末が減少し、カウンター自体も軽量化されました。その分、少人数店舗でも相談業務や融資手続きなど、親身になってご提案ができ、お客様一人ひとりに近い距離でのマネーサポートが可能になりました。

「Switch」は、特化型かつ少人数・小型店舗での使用を想定して開発されました。集客力の高いエリアへの省スペース出店や、営業時間が異なるテナント同士が集まる建築内など、今まで出店が難しかったエリアへの出店や、新しいコンセプトや戦略を持った店舗に対応ができるようになります。

接客が変わると面積効率が変わる

軽量化されたカウンターは小型化が進み、ロビー内にアイランド型として独立したり、現金を処理しないことによって、店舗空間の自由度はかなり広がりました。しかし、基幹システムに接続された端末をそのままにロビー開放はできない為、閉店後はロビーを閉鎖するか運用を制限して対応していました。

「Switch」を導入することで、従来ではオフィス・金融ロビー、共有スペースと 2.5 構成に分かれていた空間は、オフィスと共同スペースの 2 構成の空間へ変わり、従来よりもより少ない面積での出店と店舗運用が可能になります。

時間外でもロビーを利用できるようになり、従来では明確にセキュリティの差別化が必要だったテナント入居などでも、フリースペースとして開放することや、休日相談会のスペース確保など、自由度が大きく向上します。

面積効率が変わると建築コストが変わる

2 構成を採用した店舗になれば、セキュリティラインは金融オフィスと共同ロビーの間だけになります。

「Switch」は建築壁に依存せず、組替えに対応したパーティションでの併用を標準設計としています。

パーティションでセキュリティラインを構成することにより、今までのように営業時間外を示す大掛かりなスチールシャッターや、スライディングシャッターの設置が必要なくなり、建築工事への負荷を大幅に削減することが可能になることから、遊休店舗などの再活用に向けてのコストハードルも大きく下げることができるのです。

「Switch」は LGS による在来工法の壁の他、パーティションにも組込みが可能で、移設や増設にも柔軟に対応することができるようになります。

OPEN Switch 内部には、デスクトップ PC や通帳プリンター、オーバーヘッドスキャナーなど、オートキャッシャー以外の通常カウンター端末と同じ端末を使用して対応することができる。

CLOSE 営業時間終了後、Switch を営業室内部へ収納され、ロビー側はラウンジに変更される。
Switch を移動させた後は、営業室内で引き続き業務を行えるがポイント。
営業時間通りに窓口を閉めてロビーを開放しながら業務を継続させることが可能になる。

収納カウンターワゴン「Switch」 -product-

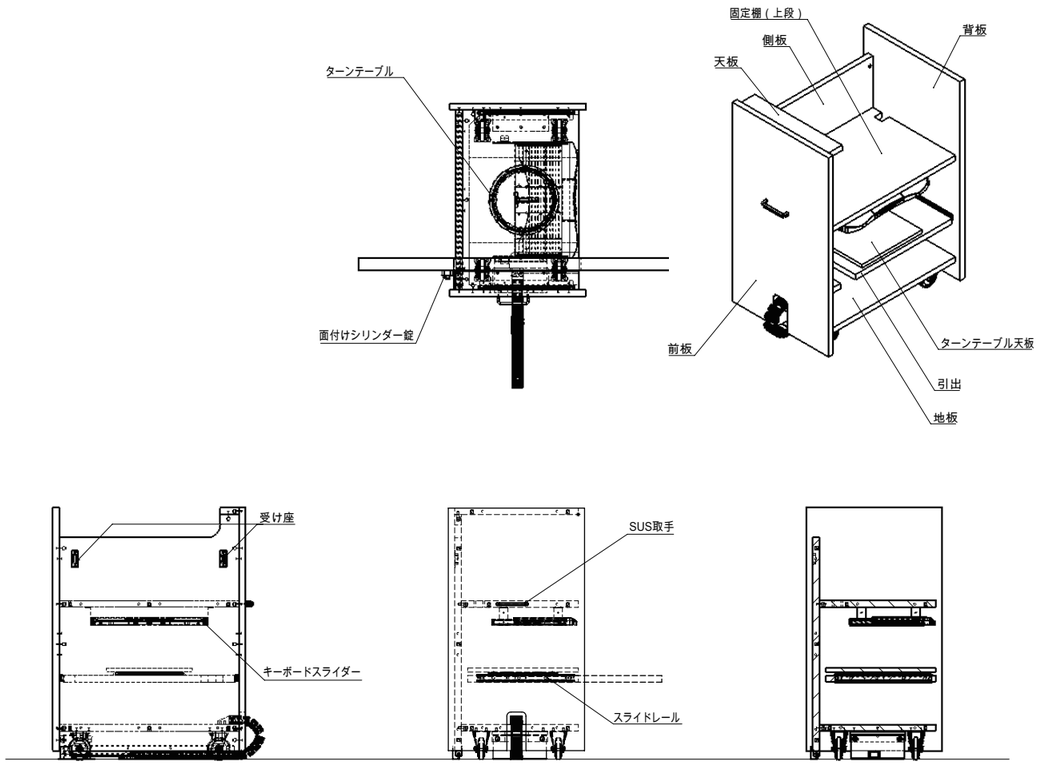
※特許出願中

従来のカウンターへ配置されている様々な端末をコンパクトに設置できます。作業用の PC 本体はもちろん、ポップアップ式の EQ 番号表示機、身分証スキャン用のオーバーヘッドスキャナや通帳プリンターなどを内部に収納できます。機器の電源やネットワークなどは全て繋がった状態で展開・収納が可能なため、ロックを外しロビー側へ押し出すことで業務を開始することができます。「Switch」本体は機器用のカウンターワゴンなので、顧客対応用のテーブルセットを用意する必要がありますが、ロビーで使用しているものを流用することにより、カウンターワゴンを収納した際には、ロビー内で自由に移動して使用することができるため無駄がありません。

カウンター端末ワゴン Switch の構造及びコンセプトについては株式会社 秀光が特許申請を行い、特許出願中になります。

寸法・諸元表

本体寸法：	奥行 905 x 高さ 1180 x 幅 min600-
本体：	t31m/m eco パネル / パーチクルボード
主要装備：	キーボードトレイ
	プリンター用引出し + ターンテーブル
設置想定機器：	デスクトップ PC(モニター・本体・マウス・キーボード)
	EQ 番号表示器
	オーバーヘッドスキャナ
	通帳プリンター
	指紋認証装置
	電源装置　など



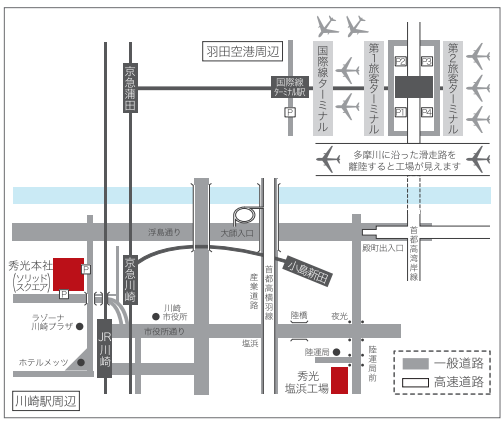
秀光について

会社名	株式会社　秀光　(SHUKOH Co.,Ltd.)
代表者名	代表取締役社長　佐久間 悠太
本社 ライブオフィス	神奈川県川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア東館5F 電話 044-543-5320 (大代)
営業拠点	大阪支店 / 福岡営業所 / 仙台営業所 名古屋オフィス / 札幌オフィス
設立	1947年 6月 (創業1941年)
直営工場	株式会社 羽田工作所 神奈川県 川崎市、茨城県 古河市、大阪府堺市

業務内容	家具製造販売及び内装工事を主に行う。 特に、金融機関・証券会社・ショップ（医療含む）等のカウンタービジネス店舗のプランニング及び什器納入では国内最大手。 イタリアのユニフォー社、アルペール社をはじめ欧州の10数社と技術提携し、国内での製造・販売を手掛ける。 また、脱プラスチックで省資源・リサイクルを重視したアルミ木工什器の技術は、近年一般企業のオフィス分野でも高く評価されており、日本IBM、トヨタ自動車、SONY、電通、資生堂などトップ企業へのプランニングやInterior設計及びオフィス什器の納入実績多数。 近年はエルメス、H&Mなどのアパレル企業の日本オフィスを一手に納入している。

〈オフィス・ショップ関連業務〉
- 組織と管理に基づくオフィス設計
- オフィス什器の設計/製作
- ショップ什器の設計/製作
- ショップの設計/施工

〈金融機関店舗関連業務〉
- 金融店舗の設計/施工/設計監理
- 金融機関専用什器の設計/製作
- CI計画、金融店舗企画/デザイン
- 金融店舗診断/レイアウトプラン/コンサルティング



■ 秀光 本社・ライブオフィス
（JR川崎駅北口より徒歩5分）

〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館5F
TEL：044-543-5132
FAX：044-541-2359
https://www.shukoh.co.jp

■ 秀光 塩浜工場
（川崎駅よりタクシーで15分 塩浜陸運局とお伝えください）

〒210-0826
神奈川県川崎市川崎区塩浜 3-24-2
TEL：044-266-7023
FAX：044-266-7105

大阪支店
〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎5-2-22
TEL：06-6292-6781　FAX：06-6292-6784

福岡営業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-10-12
TEL：092-471-8825　FAX：092-474-7810

仙台営業所
〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-61
TEL：022-797-9123　FAX：022-797-9120

名古屋オフィス
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-17-13
TEL：052-766-5126

札幌オフィス
〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条2丁目1-2
TEL：070-7671-6163

大阪工場
TEL 0722-84-7525　FAX 0722-84-7526

古河工場
TEL 0280-98-3521　FAX 0280-98-1235